

わくわくドキドキならはらテクテク

2026. 3. 29 N028 ならはらの森なかの学舎



なら原っ子「うわあー！すごい貝ですね。全部が貝ですね。貝のオンパレードですね。」

なら原っ子「すごいね。たくさんあるね。どのくらいあるのかなあ。」

なら原っ子「どうしてここにあるのですか。だれのものですか。」

モンタ博士「そう言ってくれると、めちゃくちゃ嬉しいなあ。これはね、全部モンタ博士
が拾い集めたものなんだよ。」

なら原っ子「どこで、採集したんですか。ぼくたちでも拾えますか。」

モンタ博士「これはね、三浦半島を中心に、いろいろな浜辺や岩場で集めたんだよ。もち
ろん、誰でも拾えるよ。1時間くらい歩けば20～30種はゲットできるさ。」

なら原っ子「そうなんですか。今度、遠足でみんなで行きたいなあ。」

モンタ博士「そうだね。江ノ電の由比ガ浜の駅から、材木座海岸まで歩けば、ステキな
貝がらがいっぱい拾えるよ。貝拾って、潮騒の音を聞きながら、無心にな

れて、それはそれは楽しいよ。」

なら原っ子「モンタ博士！貝の魅力って、何ですか。」

モンタ博士「そうだね。貝って、色・もよう・形・大きさなど、とてもいろいろあってね。

貝の世界って、わくわくドキドキまちがいないよ。」

なら原っ子「なるほど、そういうことですか。ところで、モンタ博士！もう少し近くで、

貝の観察したいのですが・・・。」

モンタ博士「OK！それでは、ドーンと大きくして見てごらん！」

その1



その2



その3



その4



おまけ！大型の貝
(まん中のやや下に
10cmの定規あり)



なら原っ子「いっぱいあって、おどろきですね。」

なら原っ子「貝って、本当にいろいろな色・もよう・形・大きさがあるんだね。」

モンタ博士「とってもいい質問だね。モンタ
博士のお気に入りの貝を見せな
がら、貝のお話をしてあげるね。」

なら原っ子「貝講座その1ですね。」

なら原っ子「そもそも、貝って何ですか。」

モンタ博士「生物学的には、軟体動物の生き物
でやわらかい体をしているんだ。」

なら原っ子「軟体動物って聞いたことあるよ。」

モンタ博士「もう少しくわしく言うとね、
二枚の貝がらをもつ二枚貝。
それから、らせんのように巻いて
いる貝がらをもつ巻貝があるん
だよ。」

なら原っ子「タコやイカはどうなのかな。」

モンタ博士「もちろん、軟体動物だよ。」

なら原っ子「でも、貝がらはないなあ。」

モンタ博士「大昔にはあったけど、そのうち
無くなったそうだよ。」

なら原っ子「へえー。そうなんだ。」

なら原っ子「貝の仲間というのは、世界で
どのくらいいるのですか。」

モンタ博士「またまたいい質問だね。どく
くらいだと思う。」

なら原っ子「まったく想像が付きません。」

モンタ博士「世界で100000種、日本
だけでも11600種あると言
われているんだよ。」



桜の花びらに色がそっくりなサクラガイ



貝の内側の縁が赤いクチベニガイ



真っ白な色合が鷺のようなサギガイ

なら原っ子「へえー。すごい数ですね。」
モンタ博士「そうだよ。地球は昆虫の星と
言われるくらいに、たくさんの
虫がいて、100万種もいる
けど、軟体動物というのは、
虫の次に多い生き物なんだ。」

なら原っ子「へえー。すごいですね。」
モンタ博士「それからね、軟体動物は、自分
の体がやわらかいだらう。それで
それを守るために、貝がらが
あるということなんだよ。」

なら原っ子「そうですね。自分の体をかす
ために貝がらがあるんですね。」
モンタ博士「そうだよ。それから、乾燥とか
衝撃（しょうげき）などからも
保護するためにあるんだ。」

なら原っ子「なるほど、そういうことですか。」
モンタ博士「二枚貝などの表にでこぼこがあっ
たり、巻貝に見られる突起があっ
たりするのは強度を高めるためさ。
二枚貝や巻貝については、また
お話ししてあげるね。」



真珠色のような光沢を放つナミマガシワ



海の宝石とも呼ばれるルリガイ



角のような形のヤカドツノガイ



黒色の網目模様をもつ小型のマツムシ



小さくても形の美しさが光るネジガイ



お金としても利用されていたタカラガイ



独特な形をしたフドロガイ